

農事実行組合名		生産者名		点検欄凡例: ○十分、×不十分、一該当なし	JA受付印 21125 吉田
自己点検記入日	令和 2年 10月 3日				

■点検時の留意事項  
 ・あらかじめお配りしている、記録用点検表を参考に転記してください。  
 ・作業を委託している場合は、「一」該当なしとしてください。  
 ・自己点検欄に、「○」、「×」、「一」を記入してください。

No.	点検No.	レベル	項目	点検項目	点検時期	補足	自己点検	コメント等
<b>0. 理念・コンプライアンス</b>								
1	0-1	必須	「出荷する米は商品であると同時に食べ物である」という基本的な姿勢を持っている	① 「出荷する米は商品であると同時に食べ物である」という自覚がある	年間		○	
2	0-2	必須	米の生産に関わる基本的な法令について理解し、順守している	① 各法律について相関する相手がいる ② 各法律に関する情報を入手できる状態にある	年間	JA・普及センター インターネット環境等	○	
4	0-4	推奨	米の生産に関わる法令についてすべての作業者に伝えている	① 米の生産に関わる法令について掲示している、もしくは、伝えた文書がある	年間	JA座談会・指導会等	○	
5	0-5	推奨	米の生産に関わる知的財産を保護している	① 自らの知的財産を保護している ② 他者の知的財産を侵害していない	年間	商標登録・特許等がある場合 他者の商標登録等を侵害していない	○	
7	0-6	必須	生産の組合員・役員と交流する意思がある	① 生産の役員、組合員と交流する意志がある	年間		×	
<b>1. 圃場・施設等の基本的な管理</b>								
8	1-1	必須	所有しないし借用している圃場の台帳を作成し、管理している	① 地番と面積を記載した圃場台帳を持っている ② 圃場台帳は現況どおりに更新されている	3月	栽培計画書・農助申告書等	○	
10	1-2	推奨	「圃場台帳」には圃場毎の取水及び排水の経路を明記している	① 圃場ごとに取水、排水経路が記載されている	3月	用水・排水路が分かるものがあれば可	○	
11	1-3	必須	用水は、排水とは区別され、廃水による汚染がないように管理されている	① 圃場で使用する水の水源は把握されている	3月	阻沢ダム等	○	
12	1-4	推奨	保有している施設の台帳を持ち、管理している	① 用途・地番・面積が記載された施設台帳を持っている ② 施設台帳は現況どおりに更新されている	3月	乾燥・調整施設、作業場等	○	
14	1-5	推奨	作業場について、適切な内部構造、防犯設備等を確保している	① 作業場は、十分な強度を持っている ② 作業場には、侵入防止、盗難防止措置が採られている	年間	通常の強度があれば○ 出入口に鍵があれば○	○	
16	1-6	推奨	保有している農業機械についての台帳を持ち、管理している	① 農業機械の管理台帳を持っている ② 農業機械台帳は現況どおりに更新されている	年間	青申減価償却一覽等	○	
18	1-8	必須	農業用の器具及び運搬用の器具は、清潔に保たれている	① 農業用の器具は、清潔に保たれている ② 運搬用の器具は、清潔に保たれている	年間	トラック荷台等	○	
<b>2. 栽培計画の作成と実行</b>								
20	2-1	必須	品種別・栽培方法別・圃場別の栽培計画書を作成し、保管している	① 品種別、栽培方法別の栽培計画書がある ② 栽培計画書には、使用する圃場が明記されている ③ 栽培計画書には、予定収穫量が明記されている ④ 栽培計画書には、使用する予定の農業、肥料等の資材が明記されている	3月	栽培計画書・農助申告書等	○	
24	2-2	必須	過去の栽培記録を保管し、栽培計画の立案の際に活用している	① 過去の栽培記録を保管している ② 栽培計画を策定する際に、栽培記録を参照している	年間	栽培管理記録簿 記録用等	○	
26	2-3	必須	栽培計画書に記載されている農業、肥料等の資材は、その適法性が確保されたものである	① 栽培計画書に記載された農業及び肥料は、適法であることを確認している	年間		○	
27	2-4	必須	育苗に際して使用した農業、肥料、資材を記録している	① 育苗に際して使用した農業、肥料、資材を記録している	4月		○	
<b>3. 栽培に係る記録の作成と保管</b>								
28	3-1	必須	栽培記録を圃場別に作成し、保管している	① 栽培圃場、農業散布や肥料の施肥などの作業内容、作業日が明記された栽培記録がある ② 栽培記録が栽培計画書と異なる場合も、その適法性が確認されている	年間	栽培管理記録簿 記録用等	○	
30	3-2	必須	種子や苗の購入伝票を整理し、保管している	① 種子、苗の品種、使用農薬とその使用回数が特定できる帳票を保管している	年間	購入伝票等	○	
33	3-3	必須	農業管理台帳を作成し、保管している	① 農業の管理台帳を持っている ② 農業の管理台帳は、適宜更新されている ③ 農業の購入の記録、伝票がある ④ 台帳に記載された農業の数量と実際の在庫は一致している ⑤ 期限切れの農薬が無い	年間	購入伝票等	○	
36	3-4	必須	使用した肥料、土壌改良資材の記録を作成し、保管している	① 使用した肥料(種子・苗に使用した肥料を含む)、土壌改良資材が記録されている ② 肥料、土壌改良資材の購入伝票を保管している ③ 記録が栽培計画書と異なる場合も、その適法性が確認されている	年間	栽培管理記録簿 記録用等 購入伝票等	○	
39	3-5	推奨	使用した堆肥の使用記録を作成し、その記録を保管している	① 使用した堆肥が記録されている ② 堆肥の購入伝票を保管している	4月	栽培管理記録簿 記録用等 供給伝票等	○	
41	3-6	必須	品種別に収穫量、収穫時期を記録している	① 品種別に収穫量、収穫時期を記録している	9月	栽培管理記録簿	○	
<b>4. 農薬、肥料の使用と保管</b>								
42	4-1	必須	農薬は鍵がかかる場所に保管されており、鍵の管理者が明確になっている	① 農薬の保管場所は施錠されている ② 鍵の保有者が特定できる	年間		×	
44	4-2	必須	農薬は、圃場及び作業場とは区分けし、かつ安定した場所に保管している	① 農薬は、作業場を汚染しないように区分けして保管している ② 農薬は、落下して飛散する危険性がないよう保管している	年間		○	
47	4-3	推奨	農薬の調合場所は、圃場、および作業場とは区分けし、必要な器具を持っている	① 農薬の調合場所は特定できる ② 農薬の調合場所は圃場、作業場から離れており、汚染の危険性はない ③ 農薬の調合用の器具は、適切なものを持っている	年間	なるべく同じ場所で調合 メーカーが推奨する器具	○	
49	4-5	必須	隣接圃場への農薬の飛散などが起こらないように管理している	① 隣接圃場の作物を把握している	年間		○	
51	4-6	推奨	化成肥料の保管場所が確保されている	① 化成肥料の保管場所がある ② 化成肥料の包装は劣化したり破損したりして、漏れ出していない ③ 化成肥料によって圃場、農産物、作業場所、河川、用水を汚染する危険性がない	年間	保管場所が特定されていれば○	○	
53	4-7	推奨	施肥基準に沿った施肥(肥料の投入、土壌改良資材等の使用等)作業を行っている	① 土壌診断の結果を元に、施肥を行っている ② 肥料の施肥基準を確認している ③ 施用量、施用方法を守っている(基肥、追肥)	3月	肥料申込書・指導会資料	○	
56	4-8	推奨	堆肥等の有機物を適切に施用して地力の増進を図っている	① 堆肥等、有機物を施肥基準に基づき施用している ② 自家製の堆肥を製造し、使用している場合、周辺環境、土壌、地下水等を汚染しないよう管理している	年間	肥料申込書・指導会資料	×	
<b>5. 圃場作業及び収穫後の農産物の管理</b>								
58	5-1	推奨	圃場で作業を行う際、異物混入防止のための手立てをとっている	① 圃場で作業を行う際、異物混入防止のための手立てを講じている ② 圃場の中に吸殻、ゴミ等の異物混入の原因となるものがない	年間	ゴミ拾い等	○	
60	5-2	必須	収穫した米を品種別、栽培方法別に区分けしている	① 米は品種別かつ、栽培方法別に区分けされている	9月		○	
61	5-3	必須	収穫した米への異物混入の防止策をとっている	① 収穫した米に異物が混入していないが、点検している(乾燥・調整時)	9月	乾燥機場所の不潔物を取らない等	○	
62	5-4	推奨	米は、適切に温度管理されている	① 米は、保管、選別・包装等の各工程で、適切に温度管理されている	9月	年内に出荷していれば○	○	

6. 保管・選別・包装・出荷等の工程管理					
No.	項目	点検項目	補足	自己点検	コメント等
63	6-1 必須	品質基準、出荷基準などに基づき、保管、選別等の各工程の作業を管理している	① 品質基準、あるいは出荷基準を持っている	9月	JAからの米出荷に関わる資料等
64	6-2 必須	出荷する米は、農産物検査法に基づく検査を受けている	① 農産物検査法に基づく穀物検査を受けている	10月	
65			② 穀物検査の記録を保管している	年間	格付通知書等
66	6-3 必須	「検査済印」のある米袋は、その表示を削除し、米袋として再利用しない	① 「検査済印」のある米袋は、その表示を削除し、米袋として再利用していない	年間	厚米用の紙袋、検査証明欄に×印をすれば○
67	6-4 必須	計量器を定期的に点検している	① 計量器を定期的に点検している	9月	点検業者等に依頼しているか
68			② 計量器のゼロ点、風袋引き数値が正確に行われている	9月	
69	6-5 必須	米の乾燥調整、保管の記録を作成し、保管している	① 乾燥調整の記録を持っている	年間	作業日誌等
70			② 保管の記録を持っている	年間	出荷物の保管管理記録
71	6-6 必須	米の出荷の記録を作成し、保管している	① 出荷するすべての米についての出荷記録を持っている	年間	出荷物の出荷管理記録
7. 作業場における衛生管理					
72	7-1 必須	作業場の整理・整頓・清掃をしている	① 作業場の整理・整頓・清掃をしている	年間	
73	7-2 推奨	手足の洗い場を作業場とは区分して設けている	① 作業場と隔離された手足の洗い場がある	年間	
74			② 作業場に行ける場所にトイレがある	年間	作業場・圃場
75	7-3 推奨	作業中に使用できる衛生的なトイレがあり、トイレには手洗い場がある	① トイレには、手洗い場があり、衛生用の備品がある	年間	石鹸、手拭きタオル等
76			② トイレを清掃し、害虫の発生原因とならないように、殺虫処理を行っている	年間	
77	7-4 必須	ペットや野生動物などが作業場に入らないようにしている	① ペットを作業場に入れない	年間	乾燥調整施設等
78			② 全ての野生動物に対する侵入防止対策が立てられている	年間	防鳥ネット、CD、粘着シート等
79	7-5 必須	喫煙場所が特定されている	① 喫煙場所と作業場、資材置き場は異なる場所に設置されている	年間	喫煙場所を特定し表示
80	7-6 必須	作業者は衛生的な服装をし、手指に怪我をした作業者は、手袋を装着している	① 作業者は帽子、手袋、清潔な服装を着用している	年間	
81			② 手指に怪我をした作業者は手袋をして作業に従事している	年間	
82	7-7 必須	包装用の資材は衛生的に管理されている	① 包装用の資材は、区分管理されている	年間	肥料・農薬等から離れた所で管理
83			② 包装用の資材は、汚染や異物混入を防げる状態で保管されている	年間	乾燥等の汚染対策(ほこり等)
84			③ 長期間使用していない包装用の資材は、適切に処分されている	年間	古い紙袋は使用しない
85	7-8 必須	噴霧型、蒸散型の殺虫剤、殺菌剤等の薬剤は適切に管理されている	① 噴霧型の家庭用殺虫剤及び取り回し容易な殺虫剤等は作業場、生産施設内では使用していない	年間	
86			② 霧吹き型の殺菌剤等は、米や設備を汚染する危険性が無いように使用している	年間	
87			③ 蒸散型の殺虫剤、殺菌剤等は、米や設備を汚染する危険性が無いように使用している	年間	
8. 環境への配慮					
88	8-1 必須	農薬を使用する際には、周辺住民、周辺環境に配慮している	② 農薬を使用する際には、周辺への飛散が少ない方法を選択している	年間	住宅地等
89	8-2 推奨	圃場への配慮のため、圃場には完熟堆肥を施用している	① 圃場には完熟堆肥を施用している	4月	
90			② 圃場に施用する際に、過剰な臭気が発生しないように配慮している	年間	散布後速やかに耕起する等
91	8-3 必須	農薬の空き容器は決められた場所に、適切に保管し、処分している	① 農薬の空き容器は、環境を汚染しない適正な場所に保管されている	年間	1か所にまとめて保管
92			② 農薬の空き容器は法令に基づき適切に処分されている	年間	JA農プラ回収
93	8-4 必須	破材・廃棄物は決められた場所に適切に保管し、処理している	① 破材、廃棄物は、環境を汚染しない適正な場所に保管されている	年間	肥料袋、ハウスビニール等
94			② 破材、廃棄物は、指定された処分方法どおりに処分されている	年間	
95	8-5 推奨	圃場から出る作物残さ(もみ殻等)などの廃棄物は、適切に処分している	① 圃場から出る廃棄物は、適切に分別・保管されている	9月	燃焼飛散対策等
96			② 圃場から出る廃棄物は、決められた方法で適切に処分されている	9月	
97	8-6 必須	再利用する使用済みの農業資材は、適切に管理されている	① 使用済み資材は、適切に管理している	年間	使用後、圃場・ハウス等に放置しない
98	8-7 必須	農業機械の廃棄にあたっては、処理基準に準じて処分している	① 不要な農業機械は、適切に保管されている	年間	
99			② 不要な農業機械は、適切に処分されている	年間	
100	8-8 必須	農業用機械に使用する燃料、オイル等を適切に管理している	① 農業用機械に使用する燃料、オイルは適切に保管、使用されている	年間	
101			② 使用済みのオイルは、適切に処分されている	年間	
102	8-9 必須	堆肥の製造・保管にあたっては、適切な場所が確保されている	① 堆肥を製造している場合、周辺を汚染しないように措置している	年間	4-8と同じ
103			② 堆肥を保管している場合、周辺を汚染しないように措置している	年間	4-8と同じ
9. 健康管理と労働安全					
104	9-1 必須	作業者の定期健診を実施している	① 健診実施(受診)の記録がある	年間	JA人間ドック・健康診断
105			② 随時の作業にも健康診断の受診を勧めている	年間	
106	9-2 必須	圃場・作業場の危険な箇所、危険を伴う作業を把握し、安全を確保している	① 農作業等に関わる危険な箇所、危険な作業を認識している	年間	
107			② 危険な箇所、危険な作業は、作業環境や設備等の改善によって、危険を軽減するよう取り組んでいる	年間	
108			③ 農薬使用の際の防護措置がとられている	年間	マスク・ゴーグル等
109	9-3 推奨	事故時の緊急対応が定められ、必要な備品を備えている	① 怪我等の事故時の応急手当の備品を備えている	年間	
110			② 農薬暴露時の応急手当の備品を備えている	年間	水・石けん等
111	9-4 必須	農業機械による事故等が生じないように使用前点検を行っている	① 農業用の機械、器具は、使用前に正確に機能することを確認している	年間	
112	9-5 推奨	万が一事故に遭った際にも、対応できるよう保険または共済に加入している	① 作業者は労働災害保険に加入している	年間	農業労災・傷害共済等
113			② 事故等により機械等が破損した場合に備え、損害保険等に加入している	年間	JA共済等
10. 生産工程の管理及び把握					
114	10-1 必須	「適正農業規範」に基づく自己点検を正しく行っている	① 「適正農業規範」に基づく自己点検を正しく行っている	年間	
115			② 自己点検の結果、明らかになった不具合や改善すべき事項について、修正、改善の措置を講じている	年間	
116			③ 所属する団体の「自己点検」を受け、不具合や改善すべき事項について、修正、改善の措置をしている	年間	JAとの2者点検を行っていない為、該当なし「-」
11. その他					
117	11-1 必須	種子の更新	① 種子更新をした	年間	
118	11-2 必須	高品質な農産物を生産するための仕分け	① 圃場内の雑草や異品種の発生状況を確認した	8月	
119			② 圃場内の雑草や異品種を取り除いた	8月	
120	11-3 必須	カメムシ防除	① カメムシ防除時期を確認する為、出穂の確認を行った(出穂80%以上 月 日)	8月	
121			② カメムシ一斉防除日に薬剤散布を行った	8月	
122			③ カメムシ被害軽減の為、兼播一斉防除を行った	9月	
123	11-4 必須	区分出荷と収穫作業機械の清掃	① 収穫・乾燥・調整作業の開始前や品種の入替前に作業機械や設備の清掃を行った(収穫機清掃日 月 日、乾燥機清掃日 月 日)	9月	
124	11-5 必須	汚染防止対策	① 収穫・乾燥・調整作業時にたばこを吸わない	9月	
以下のNo.125~133の項目については、作業月を実施した月に応じてチェックする項目となります。					
125	0-3 推奨	米の生産に関わる基本的な法令に関する学習の場に参加している	① 米の生産に関わる法律や、知的財産に関する学習会に参加している	□3月 □4月 □5月 □6月 □7月 □8月 □9月	
126	1-7 必須	圃場及びその周辺は、美しく保たれている	① 圃場及びその周辺を、除草、清掃している	□3月 □4月 □5月 □6月 □7月 □8月 □9月	
127	4-4 必須	農薬の散布機や関連器具は、適切に管理されている	① 農薬の散布機、器具(ノズル、ホース、タンク、バケツ)は使用後に洗浄されている(実施した場合のみ)	□3月 □4月 □5月 □6月 □7月 □8月 □9月	
128			② 洗浄した汚水は、農産物、作業場所、河川、用水を汚染しないように排水している(実施した場合のみ)	□3月 □4月 □5月 □6月 □7月 □8月 □9月	
129	4-5 必須	隣接圃場への農薬の飛散などが起こらないように管理している	② 隣接圃場への汚染防止のために散布時の風向、風力の注意、散布機、ノズルの変更、圧力の低減、散布方法に注意している	□5月 □6月 □7月 □8月 □9月	
130	8-1 必須	農薬を使用する際には、周辺住民、周辺環境に配慮している	① 農薬を使用する際には、周辺住民への告知、注意喚起等を行っている	□5月 □6月 □7月 □8月 □9月	
131	8-10 推奨	使用する農薬の量を減らすための工夫をしている	① 圃場周辺の環境整備等を行い、害虫や病気の発生を抑制している	□4月 □5月 □6月 □7月 □8月 □9月	
132			② 生産する農作物に関する病虫害の発生予察情報を収集している	□4月 □5月 □6月 □7月 □8月 □9月	
133			③ 使用する農薬の種類、量、時期は、発生予察情報に基づいて決定している	□5月 □6月 □7月 □8月 □9月	